

# 二枚看板想定 打撃に熱

## 光星、東邦戦へ練習再開

全国高校野球選手権で、院光星ナインは11日、兵庫公園野球場で練習を再開した。2回戦の東邦(愛知)戦に向け、はつらつ



打撃練習で鋭い打球を飛ばす八学光星ナイン。11日午後、兵庫県西宮市・鳴尾浜臨海公園野球場

とした動きで2時間の調整に臨んだ。「行くぞ!」。正午、主将奥村の掛け声でグラウンドに飛び出した選手たちは、前日休養したこの様子だった。

30分ほどノックを行って体をほぐすと、残り左腕松山の二枚看板を想定した打撃練習に時間を割いた。各打者が左右の打撃投手相手に、ライナー性の鋭い打球を飛ばした。またマシンには、藤嶋の武器である「ナックルカーブ」と呼ばれる大きく曲がって落ちる変化球を投げさせ、それぞれが目を慣らした。

午後2時に練習を終え、選手を集めた仲井監督は「気持ちを持ち直し練習に臨んでほしい。状態は悪くない。もっといいプレーができるはず」と次戦に向け奮起を促した。1回戦で1本塁打を含む4安打と活躍した3番の田城は「本塁打はまたま、まぐれ」と浮かれた様子はなく、「(大振りせず)しっかりヒットを打ちたい」と気を引き締めた。

小林 直輝 内野手(3年)



光星  
甲子園だより

内野の要である遊撃手。軽快な身のこなしと柔らかなグラブさばぎにチームの信頼も厚い。初戦は無難に打球を処理し

### チーム1 守りに自信

てノーエラー。「チームで一番、守りに自信があるので」と語り出す。1年秋からレギュラーに定着。自身3度目の甲子園となるが「夏は初めて。まさかこれほど暑さが厳しいとは」と苦笑い。次戦の東邦戦に向け「投手陣がいい。準備を怠らず、研究し、必ず打つ」と力強く宣言した。

(群馬県・新里中出身、165センチ、70キロ、右投げ左打ち)

東邦戦は大会第8日(14日)、午後1時開始予定。(松田啓志)